

5月22日に越谷市、24日に春日部市と話し合いを行いました!!

話し合いの前提となることとして…

越谷市、春日部市との間で 2003 年に確認されていること…本来は障害のある子もない子も地域の通常が急で共に育ち・共に学ぶことが大切である。現状ではそこで学ぶための理解や支援が整っているとは言いきれない状況もあるので、親子が望む場合には、特殊学級や盲・聾・養護学校も用意し、そこでの教育を選択できるようにしている。

これを踏まえ越谷、春日部の教育委員会と毎年話し合いを行っています。

要望書要点

1. 2003 年の確認事項の再確認、その上で就学支援委員会の条例見直しを。そして就学時健診の受診義務のないことを伝えて。
2. 障害のあるなしにかかわらず、地域の子どもはすべて地域の学校で受け止めることが基本だと学校に徹底して。そして子供たちを受け止められるように、教員の事務的負担等を減らす取り組みを。
3. 特別な場を選んででも地域の学校に戻ってこられるよう、居住地校での交流教育をすすめて。小・中学校ごとに、本来通うはずの通常学級以外の特別支援学級、特別支援学校に通っている子供の数を教えて。
4. 障害があっても公立高校を受験できること、高校受験では障害による不利益に対して様々な配慮があることを中学校にきちんと伝えて、応援して。応援している会のあることも伝えて。
5. 国レベルでは就学先決定について「総合的判断」という流れが出ているが、本人保護者の意思を尊重するよう、まずは全員に就学通知を出すように国、県に働きかけて。

回答要点

1. **越谷市**…確認されてきたことは市としても基本と考えるが、そのための体制が 100 パーセントとは言えず徐々に進めている状態。就学時健診は法令で定められているので行っている。
春日部市…就学相談の在り方は必要な情報を学校、教育関係者、保護者が共有し十分に話し合うことが大切。特別というが、個別に教育できる場として今後も整備。
2. **越谷市**…学校に対しなるべくぎょう校内の教師、支援員でと言っているし支援員を配置しているが、予算にも限りがあり手が足りない状況も聞いている。事務負担の軽減は、国、県からの調査などで類似のものはなるべく統一する、研修をスリム化するなどの工夫を図って

春日部市…付き添いの強要はあつてはならないが、命に係わる危険がある場合など、お願いすることもある。教員の多忙と子供を受け止めることができにくくなっているのは別問題。

3. 越谷市…支援籍は増えている。行事だけのケースもあるが、学校によってはかなり授業にも参加している。回数は特別支援学校側が決めている。特別支援学級に通っているお子さんの数字は把握しているが、特別支援学校に通っているお子さんの数字は把握できていない。

春日部市…支援籍の実施方法や頻度は子供の状況に応じて異なり、学校同士だけでなく市教委も同席して十分に話し合い実施。特別支援学校在籍者の正確な数字は把握できていない。

4. 越谷市…昨年あたりから特別支援学級の生徒が公立高校を受験したいという相談も出てきた。少しずつ浸透しているが平成23年度は実績ゼロ。

春日部市…障害のある生徒が公立高校に入学している例はある。将来の就職も見越して保護者とともに考えていく姿勢で進路指導をしている

5. 越谷市…国の考えは初めて知ったが、原則は地域でというのは変えずに進めていきたい。

春日部市…保護者の意向を尊重することは大事だが、保護者に提供できる支援を伝えることも必要

参加者の感想を載せます

越谷市教委との話し合いに参加

要望書についての回答をもらう前にここ数年で特別支援教育が変化（前進）していると言う話があった。

発達支援の指導、支援方法を学ぶ機会ができて、支援学級での方法を普通級の授業に取り入れるなどしている。とても成果のあることなのだそう。その一方で支援学校の教室がたりず、学校が増設されたり、支援学級に不登校やいじめを受けた普通の子がたくさん移籍してきている。

これは、浸透と言えるのか？問題を受け止めきれてないから、問題のある子を避難させる、取り除く、別の場所においやるなどの合理的な方法がとられるのではないか？

いまいちど障害があっても供に学べるように要望を受け止めて欲しい。（清水）

春日部市教委との話し合いに参加

市教委への要望書はその場で具体的な説明を加えて回答を求めたが、今年も消化不良に終わった感じがすっきりしない。

今年小学校普通級に入学したSさん。当初は不安があったので自主的に付き添っていたが、「そろそろやめたい」と申し出たところ、「目が届かない、何かあったら困るから付き添いを続けてほしい」と言われ、今も毎日付き添いの日々。更に「特別支援の場」を勧められ、学校に対して不信感を募らせている。「わかって普通学級に通わせているのだから、特別な場の情報提供はいりません。話をしてほしい！」と涙ながらに訴えた。「付き添いは強要していない」と言っているが、現実には…。

「“分ける場所”があるから学校側が“受け止めよう”という気持ちにならない。」「一緒にやってみましょう」という姿勢を先生たちに持ってもらいたい、「保護者の付き添いは周囲との関係を阻害する。学校に伝えてほしい」などの意見が出たが…。(上原)

ダ！さいたま おしゃべり会 in 浦和コムナーレ

5月25日(土)の報告 By 藤ヶ谷

今回は猪瀬さんのご紹介で芳野佑介さんという学生さんの参加がありました。芳野さんは、静岡県出身で広島市立大学大学院の2年生。障害のあるお兄さんがいるということもあり、「障害者の兄弟姉妹」をテーマに考えているということでした。

となれば一。「みんな一緒だ!。」のメンバーは、ここぞとおばさんパワーを発揮し、お兄さんとのエピソードをいろいろ聞きだしてしまいました(笑)。普段の生活の様子はもちろん、近所との付き合いやら、チャンネル争いやら、CDの録音やら、はては、お兄さんと彼女のことで…?印象的だったのは、それらを話すとき、芳野さんがとても楽しそうだったこと。そしてメンバーも芳野さんのお話に自分の体験や子供のことを重ねて、“あるある”な話をしていました。楽しいおしゃべり会になりました。(藤ヶ谷)

※このほか、おしゃべり会では、5月14日の高校教育局交渉の振り返り、今後に向けてなども話され、公立高校の定員の決め方などについて再度質問していくことになりました。

※このおしゃべり会は、どの子も地域の公立高校へ埼玉連絡会のおしゃべり会です

TOKO、どの子も公立高校へ埼玉連絡会の今後の予定

6月14日(金) 午前10時半から TOKO ミニおしゃべり会 in オエヴィスの居間

6月29日(土) 午後1時から 埼玉教組、埼玉高教組との話し合い(組合事務所)

※ダ！さいたま おしゃべり会に替えて行います。

7月9日(火)、10日(水) 就学ホットライン 午前10時から午後5時まで

連絡先 上福岡 042-266-4897、坂戸 042-298-5176 ※期間を守って連絡してね(^_^;)

8月4日(日) 公立高校入試に向けての夏の集会 場所未定